

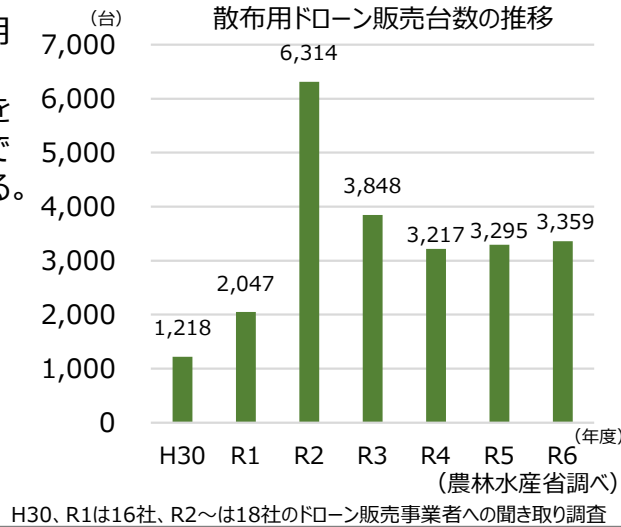
令和7年度 農業分野におけるドローン の活用状況

令和8年3月
農林水産省 農産局 技術普及課

農薬等の散布におけるドローンの活用状況について

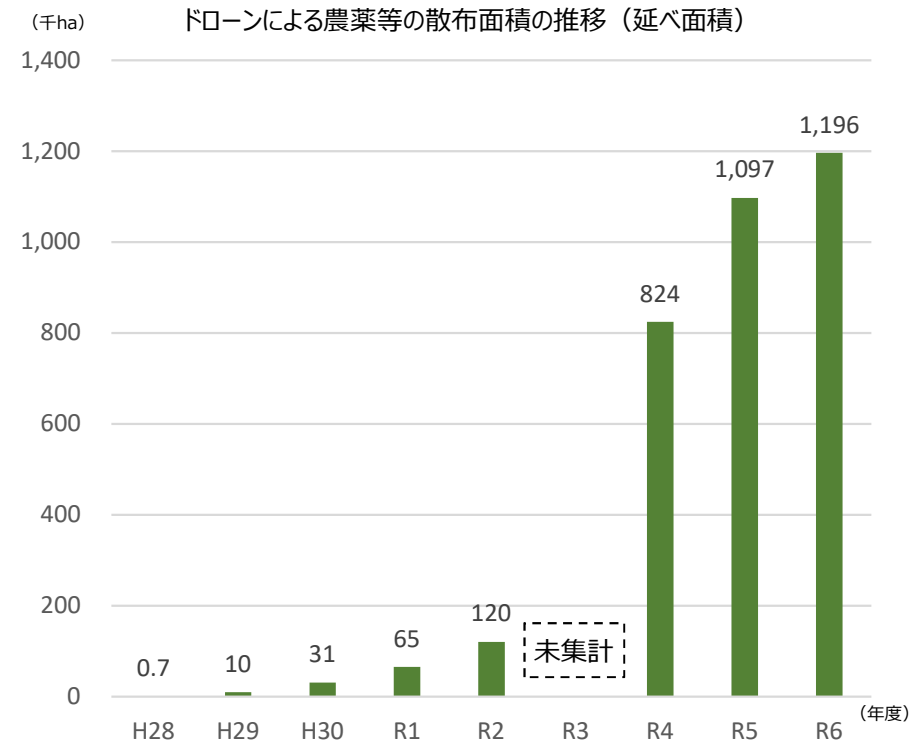
散布用ドローンの販売動向

□ 農薬・肥料等の散布用ドローンの販売台数は、R6年度においても前年を上回り、横ばい傾向の中でやや上向きの推移となっている。



ドローンによる農薬等の散布面積の動向

□ ドローンによる農薬等の散布面積は、R5年度に100万haを突破し、以降も引き続き拡大しており、農作業の省力化・効率化に向けたドローンの利用が、顕著に進んでいる（推計値）



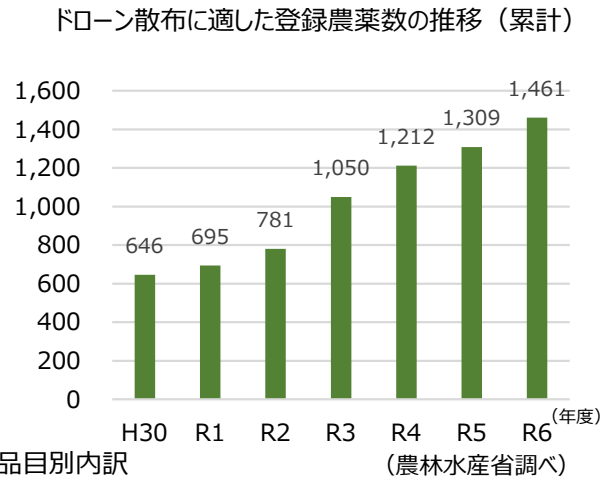
【集計方法】

H28～H30年：農林水産省の通知に基づき事業者が提出した報告データを元に集計。
R1年：散布面積を把握している一部の都道府県から提出されたデータを元に推計。
R2年：国土交通省における「飛行実績報告」の飛行時間のデータを基に推計。
R3年：未集計（国土交通省「飛行実績報告」の提出が不要になったこと等による）
R4～6年：国土交通省の「無人航空機登録システム」における当年度飛行しうる登録機体数とドローン販売事業者から聞き取った当年度における1台当たりの平均散布面積を基に推計。

ドローン散布に適した登録農薬数の動向

□ ドローンでは高濃度・少量散布が必要となるため、これに適した農薬登録が必要

□ 稲・麦類以外の品目でも登録が進み、R6年度も前年から増加した。多様な作物でドローン防除の活用が広がり、現場の選択肢がさらに充実してきている。



ドローン散布に適した登録農薬数の品目別内訳

	稲・麦類	野菜類等	果樹類	いも類	豆類	その他	総計
H30年度末	463	48	18	24	68	25	646
R6年度末	582	450	70	142	84	133	1,461